出　張　報　告

報告日　令和７年１月２７日

会 派 名	暮らしと笑顔
報告者氏名	池野里美
種　　別	□調査研究（□行政視察）　□研修会　■要請・陳情　□各種会議
用　　務	女性議員の会から知事・教育長への要望活動
日　　時	R７/１/２３（木）　１３：００　　～　　R７/１/２３(木)　１４：１５
場　　所 （会場）	新潟県庁（知事室、教育委員会室）
調査項目等	
概　　要	女性議員の会　知事・教育長へ、2025 年度新潟県当初予算編成にかかる要望活動 ・新潟県女性議員の会（会員 50 名）から、20 名参加。 ・女性議員の会会長より概要説明の後、新たに加えた個所について各議員より要望。 ・要望に対する回答を頂き、意見交換。 ①13：10～13：30　県知事への要望活動 ②13：50～14：20　教育長への要望活動 ＜要望内容＞ ①　新潟県知事：花角英世様へ、8 分野（35 項目）を要望。 1：人口減少への対応（2）、2：医療・保健・福祉（3）、3：子どもの健やかな育ち（7）、4：男女平等・障がい者・人権（3）、5：教育（13）→教育長へ、6：暮らしの安全（3）、7：防災（3）、8：産業振興（1） ②　新潟県教育委員会教育長：佐野哲郎様へ、教育に関する政策について要望。 1：包括的性教育の推進、2：学校給食、3：いじめ対策、4：不登校対策、5：特別支援教育の拡充、6：医療的ケア児、7：軽度・中度難聴児への補助、8：部活動の地域移行、9：図書館の役割、10：教職員の配置強化、11：冬場のスクールバス、12：学校への冷暖房の設置、13：デジタルデバイスの利用 ※要望内容詳細は別紙参照。

	 ↑花角知事への要望 ↑教育長への要望書を手渡し
所　感　等	・毎年、新潟県女性議員の会からの視点で、知事への要望活動を行っている。昨年は公務と重なり参加できず、今回初めて参加した。柏崎市議会の産業建設常任委員会の委員として、今回の要望書に新しく観光の視点を加えて頂き、私から知事へ、柏崎市の現状も踏まえ、佐渡金山の世界遺産登録を契機とした県内連携ツアーの支援策などについて直接要望を伝える機会を頂いた。花角知事が次の予定があり、個別の要望に対する返答の時間はなかったが、なるべく多くの議員から直接話を伺いたいとの事で、真摯に話を聴いていただいたと感じている。知事からは全体を通して、「要望内容については、すでに取り組んでいるもの、想いを共有できるもの、知らなかったものもあり、予算編成作業も佳境に入っており、出来るだけ想いに応えられるよう最大限努力したい」との返答があり、介護人材の課題、ケアマネージャーの受験要件の課題などに対してのやり取りがあった。 ・教育に関する施策については、知事ではなく、教育長へ別で要望活動を行った。米飯給食の推進については、地場産給食推進月間など県を挙げて取り組んでいる事や、米飯給食の回数が、全国平均は 3.6 回の所、新潟県は 4.2 回であり、県外の自治体から観ても力を入れているとの紹介があった。また、特別教室や、体育館などへの冷暖房の設置については、体育館は災害が起きた場合の避難所になるという観点からも必要性が高まっている事は承知していること。国の補助制度を活用しながら、市町村単位で進んでいけるようにと言った話があった。 　新潟県女性議員の会は、県内地方議員で創る超党派の組織であり、女性の視点・地方議員からの視点で知事へ直接要望活動が出来る貴重な機会であると感じている。県内でも自治体によって共通する課題や独自の課題などもある中で、議員たちとの情報交換もでき、とても勉強になる機会であった。今後も、他の自治体の議員と情報交換をしたり、勉強をしたりしながら、より住みやすい新潟県となるよう励んでいきたい。